

22

6月2019年

## カフェ・マーノマーノのランチタイム ～木の香りと、自宅にいるような居心地の良さ～

文責: 波多江伸子 (がん・バツテン・元気隊代表)

全4ページ

元気隊の仲間も地域の方たちも楽しみに待っていたマーノマーノの再オープン。友人たちを誘って、ランチに出かけました。車の多い通りに面しているのに、木立の中の一軒家のような静かな雰囲気です。公共交通機関の最寄り駅は、西鉄バスの野芥。私たちは、地下鉄七隈線の野芥駅で待ちあわせて歩きましたが、ちょっと遠かったかな。お店の前には車3台分ほどの駐車スペースもありますよ。

玄関で靴を脱ぎ、木の香りのする床を、スリッパなしで歩くのって気持ちいい。オーナーの峰平あけみさんが「お待ちしていました」と、明るい笑顔で出迎えてくれます。人数が多い時は事前に予約して行った方が、安心もしれません。私たちは、一階の奥まった場所の明るい部屋を占拠して、おにぎりのワンプレートランチを注文し、2時間たっぷりおしゃべりしました。



(入り口のアンティークボード)



(オーナーの峰平あけみさん)

マーノマーノでは、在宅ホスピス療養中の水彩画家・吉見隆さんのハガキサイズの水彩画展が開催中でした。各部屋にセンス良く展示されたたくさんの風景画。どこかで見たことのある建物や懐かしい景色の風景画が、各部屋に優しい居心地の良さを醸し出しています。吉見さんの作品は6月いっぱい、マーノマーノで展示されています。



(玄関に飾られた吉見隆さんの作品)



おにぎりランチは、家庭的でありながら、おしゃれな取り合わせ。週替わりメニューのその日のメインは、魚のすり身に野菜がたくさんは入ったさつま揚げ。厚焼き卵、人参サラダ、カボチャとレンコン、ウリのピクルス。甘酸っぱい、生食用カボチャのつるつるした歯ざわりが爽やかです。葉野菜のサラダもあり、野菜たっぷり嬉しい。おにぎりの具は焼き鮭と塩昆布。ダシの効いた味噌汁もついて 700 円。按配良い味付けです。私はアフターコーヒー 200 円。友人たちは、デザートにアフォガード(エスプレッソコーヒーをかけたバニラアイス)を注文しました。私たち女子会メンバーには十分なボリュームで、お腹いっぱいになりました。



マーノマーノのオーナー峰平あけみさんは、在宅ホスピスホスピスボランティア「手と手」の副代表でもあります。病気があっても、障がいを持っていても、高齢でも、素敵なカフェで楽しくお茶をしたいという当たり前の願いを実現すべく、2018年4月にマーノマーノを開店しました。が、準備に張り切りすぎて倒れてしまい、休養を余儀なくされ、お店も休業状態になってしまいました。「手と手」代表の林和恵さん始めボランティア仲間に支えられ、1年間の休業を経て、2019年5月10日より再オープンできました。充電期間に新しいメニューや構想が蓄積されたようです。

ここには、自宅にいるような、家族と一緒にのような、不思議な安心感があります。ひとりで本を読んでも、パソコンに向かって仕事をしていても、静かに見守る優しい気配が漂っています。

友人知人、元気隊の仲間を誘って、また行ってみたいカフェです。2階は多目的ホールになっていて、1時間1500円で、趣味の会や勉強会などの小さな集いに利用できます。「手と手」もマーノマーノも、私たち「がん・バッテン・元気隊」の古くからの仲間です。お店でお会いできれば嬉しいです！

\* マーノマーノの住所や地図、開店日、問い合わせ先などは、当HPの「マーノマーノ再オープン」の記事に記載されています。



福岡がん患者団体ネットワーク  
がん・バッテン・元気隊

電話 090-9591-7469 (10:00~22:00)

FAX 092-873-2372

HP <http://ganbatten.info>

